

Yodogawa Syu-Un Watching Map

淀川舟運ウォッチングマップ

船から見る淀川再発見



■編集・発行
【琵琶湖・淀川流域再生推進協議会】
近畿地方整備局、近畿運輸局、近畿農政局、近畿中国森林管理局、近畿経済産業局、近畿地方環境事務所、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、京都市、大阪市、大津市、内閣官房都市再生本部事務所（オブザーバー）
[事務局]
国土交通省近畿地方整備局企画部広域計画課内
〒540-8586 大阪市中央区大手前1-5-44
TEL:06-6942-1141 (大代表) FAX:06-6942-7463
琵琶湖・淀川流域の再生ホームページアドレス
http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/biwayodosaisei/
■編集・協力
【淀川舟運整備推進協議会】

※船上から菅原城北大橋を望む。

2007.10

三川合流点域～鳥飼仁和寺大橋

★は、船上から確認できます。

水利用

1 磯島取水口 枚方市



ここで取水された水は磯島取水場から中宮浄水場へ送水されます。上流側には大阪府の取水口があります。



7 くらわんか舟発祥の地



当時淀川を往来する船に向かって酒や餅を売っていた小舟を「くらわんか舟」といいます。「餅くらわんか、酒のまんかい」と乱暴な言葉で三十石船の船客に商売を行いました。

構造物

1 枚方大橋 昭和42年完成 合成桁



大阪府内の淀川では最上流部にあります。次に上流にある京都府八幡市の御幸橋までは約11km離れています。

2 枚方水管橋 昭和40年完成 ランガール補剛形式



大阪府営水道村野浄水場から北摂地域へ水道水を送る管(直径1.2m×2連)を渡すための橋です。

3 淀川新橋 昭和56年完成 合成桁



橋の形式として最も一般的な桁橋の構造をしています。

4 鳥飼仁和寺大橋 昭和62年完成 斜張橋



大阪府道路公社が管理している一般有料道路です。



「ワンド」とは淀川本流とつながっているか、水が増えたときにつながってしまうような場所をいいます。ワンドのコトバの語源ははっきりしていませんが、「入り江」や「川の淀み」「淵」のことをワンドと読んでいた地方があることから、淀川でもワンドと呼ぶようになりました。そしてこのワンドは「淀川らしさ」の象徴ともなっています。ワンドは、様々な生き物のすみかとなっています。たとえば天然記念物のイタセンバラは、淀川ではこのワンド周辺で見ることができません。ワンドはまさに貴重な生き物たちのすみかなのです。(淀川河川事務所HPより抜粋)

「船着場」 国土交通省では、淀川本流において、災害時の物資輸送などのための緊急用船着場を整備しています。現在9ヶ所(左岸5、右岸4)の整備が完了しています。(淀川の舟運再生と水辺の賑わい創出構想より抜粋)

カヌーに乗った人もいますよ

- 凡例
- 史跡
 - 取水口
 - 距離標 (河口からの距離(km))
 - 樋門
 - 船着場
 - 浄水場

この地図は国土院発行の数値地図 25000(京都及大阪)を使用したものである。

歴史・文化・自然

1 樟葉ワンド



2 鶴殿のヨシ原



3 鍵屋資料館



鍵屋(かぎや)は、伏見と大坂を結ぶ三十石船の船宿として江戸時代に栄え、近年まで料亭を営んでいました。広い間口には、摺り上げ戸など、街道の旅人を招き入れる工夫がなされていました。また、市の指定文化財であり、貴重な歴史的建造物です。

4 郵便屋渡し跡



明治10年、淀川の右岸に鉄道が開通したのをうけて、淀川左岸枚方側からの郵便物を対岸の国鉄高槻駅に届けるために設けられた渡しです。

5 出口のスーパー堤防



淀川の出口地区は昭和63年に日本で初めてつくられた高規格堤防(スーパー堤防)の発祥の地です。

6 三島江の渡し跡



江戸時代は渡し場として活気があり、大坂商人が三島江に渡り、能勢妙見山などに参拝に向かいました。堤防下に妙見灯籠が残っています。

8 点野ワンド



9 鳥飼の渡し跡



江戸時代、このあたりには多くの渡しがありました。そのうち、鳥飼(とりかい)渡しといえば、下の渡しのことを指すことが多いといわれています。昭和22年に木造の橋が完成し、一津屋渡しなどは廃止されましたが、下の渡しのみ昭和50年まで地元の足となっていました。

10 佐太の渡し跡



佐太(さた)は枚方宿と守口宿の中間地点に位置しており、江戸時代には間宿として栄え、菅原道真ゆかりの佐太神社前の天神浜は佐太の渡し場であり、年貢米の積み出し場となっていました。

11 鳥飼ワンド



